２０２２年６月１日

参考資料・速報値

《チャイルドラインデータ資料》

2021年度・第４四半期
【集計データから、子どもたちの状況を読み解く】

特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター

《データ資料概要と注意点》

2022年１月～2022年３月のアクセス内容、データベースを集計し分析

チャイルドラインに寄せられた子どもたちの声にどのような傾向があるのか。チャイルドラインにおける”データベース”等を基に、集計しまとめました。

・期間：《2021年度・第４四半期》2022年1月～2022年3月（速報値）

・データ集計日：2022年5月6日

・集計数（分母）：

【トラヒックデータ】（件数・今回使用したデータのみ掲載）

	10月	11月	12月	3ヶ月計	1月	2月	3月	3ヶ月計
2020年度					42,593	42,879	41,958	127,430
2021年度	38,670	40,135	34,769	113,574	40,499	38,949	37,408	116,856

【データベース】（件数・今回使用したデータのみ掲載）

	10月	11月	12月	3ヶ月計	1月	2月	3月	3ヶ月計
2020年度（全体）					10,360	10,612	11,416	32,388
2021年度（全体）	12,490	14,594	12,004	39,088	12,532	11,147	13,441	37,120
2020年度（会話成立）					3,445	3,679	3,927	11,051
2021年度（会話成立）	4,034	4,882	3,875	12,791	3,756	3,869	4,080	11,705

※（全体）は会話成立、会話不成立、無言等を含んだ全体集計数　※10月～12月は最新集計。他資料とはデータが異なる場合がある。

・表記の定義：　「%」＝上記項目の分母（集計した数）の割合
「件」＝データベースに入力されたアクセス・会話件数
「ポイント」＝パーセントポイント（他の%との比較）

・データの種類：【トラヒックデータ】電話＝NTTコミュニケーションズ、チャット＝AI.BiSから取得
【データベース】電話・チャット＝「受け手」が感じた内容を子どもが特定できないようプライバシーに配慮し、データベースとして集積

・データの性質：データの誤入力や重複、未入力データがある等、今後、修正が生じる可能性があるため、「速報値」であることを前提として扱う必要がある

・報道関係の皆様へ：データ資料について取材、ご利用の際は、チャイルドライン支援センター（連絡先最終ページ）までご一報ください。

《今期のポイント》

3学期、受験や進級、進学を控えたこの時期は入試結果に落ち込んだり、喜んだりする声が入ってきました。また、バレンタインや卒業式というイベントもあり、恋愛に関しての声も聞かれました。コロナ感染に関しても、受験生にとってはとても心配な事柄でした。感染してしまって学校に復帰しにくくなっている気持ちもありました。ウクライナへの攻撃や、3月11日周辺の東日本大震災時の映像を目にして不安になっている子どもたちもいました。子どもにとっては大きな区切りとなるこの時期、不安な気持ちを抱きやすい状況が見えてきます。

【前四半期（2021年10月～12月）との比較】

主訴では「自分」が大きく増加し、「学校」が減少（P10）しました。気持ちでは「不安」が増加（P12）しており、受験や進学で不安になる自分自身の気持ちが多く寄せられたのかもしれません。年齢別でも、環境の変化が大きい「中卒～18歳」が多く（P7）なっています。つながった動機も、不安な気持ちからか「話を聴いてほしい」が増え（P11）ました。

【前年同期（2021年1月～3月）との比較】

コロナ禍が少し落ち着き、学校もほぼ通常通りになってきているいためか、主訴では「学校」が増え（P10）、関係性の「友人・知人」も増えて（P14）います。気持ちでは「つらい・苦しい」が増加（P12）しており、動機では「話を聴いてほしい」が増加（P11）しています。

【子どもの声】※個人が特定されないようプライバシーに配慮して再構成しています。

▶春から中学生になるけど、友だちができるかどうか心配。人に話しかけるのがすごく苦手だし、うまくやっているかどうか不安になる。

▶志望校に受かりました。自分なりにすごく頑張ったからめっちゃ嬉しい。

▶気になっている人に告白してチョコを渡したら喜んでくれた。

▶大好きだった先生が4月から転勤しちゃうって聞いてすごく悲しい。好きって言いたいけど、困らせちゃうかな。

▶濃厚接触者になってしまって自宅にこもっていなくちゃいけなくて、何にもやる気が無くなっちゃった。

▶オミクロン株の感染が激増しているけど受験生だから感染するわけにいかない。家族が感染しないか不安。

▶なんで戦争があるの？子どもも殺されちゃうの？

▶東日本大震災の番組を見たら怖くなった。最近も地震があったから、またあんなふうになるのかって思ったら眠れない。

▶小学生の時にいじめをしてて、今はすごく後悔している。自分が悪かったって謝る勇気もなくて、すごく苦しい。

▶ネットで知り合った人に個人情報を教えてしまった。付き合っているつもりだったけど、何かされないか怖い。

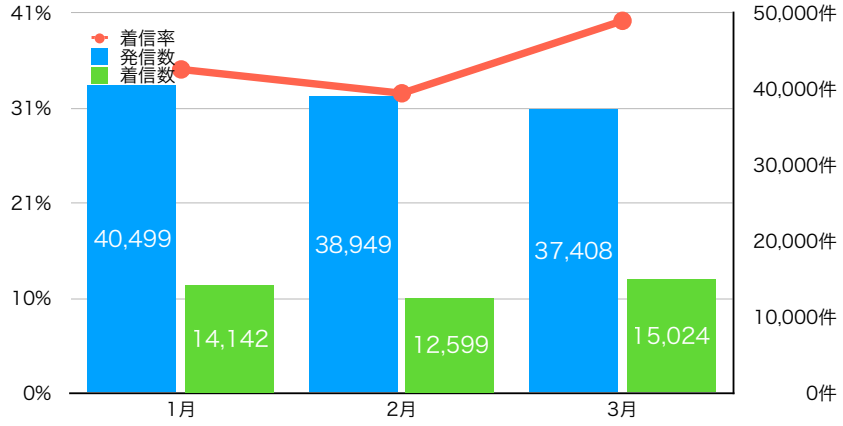
▶SNSで知り合った友だちが虐待されているみたいで助けてあげたいと思うんだけど、どうしていいかわからない。

▶お父さんがキレて殴られたから家から出てきた。お母さんも出て行っちゃった。どうしたらいいかわからない。死にたくなる。

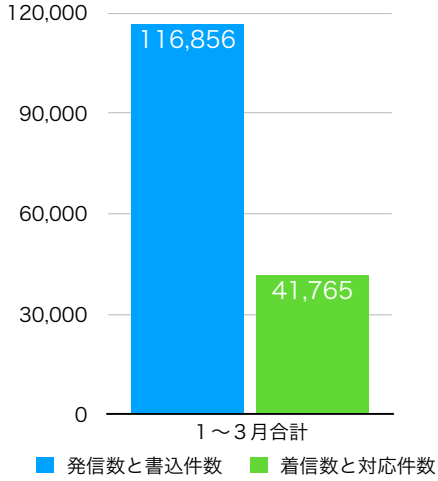
《トラヒックデータ／発信数・着信数》

トラヒックデータの発信数・着信数は、この３ヶ月では、発信数は1月、着信数は3月に多かった。
今期は、前期に比べて「発信数」は３千件ほど増加、一方、着信数は減少した。着信数の前年同期比では発信数が減少し、着信数が増加した。

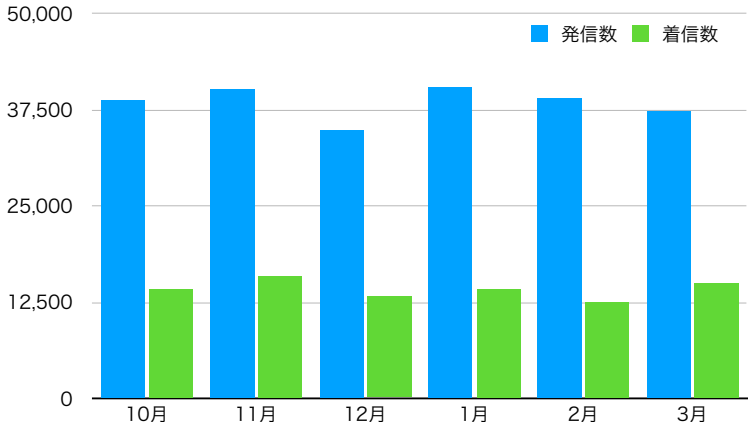
月ごとの比較【発信・着信件数と着信率】
（電話とチャット／％・件数）



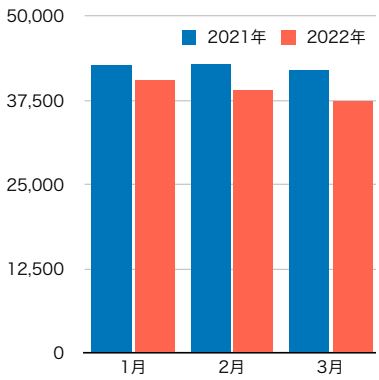
発信・書込件数と着信・
対応件数（電話とチャット）



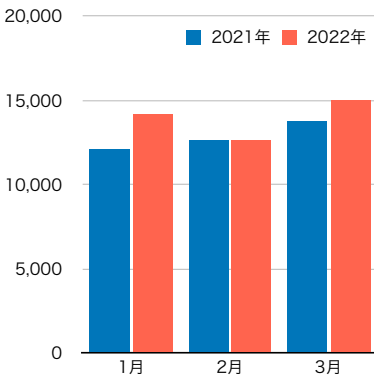
2021年10月～2022年3月
月別推移【発信数・着信数】（電話とチャット）



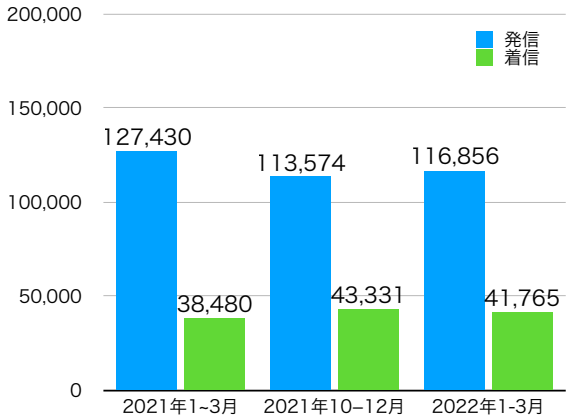
前年同月との比較
【発信数】（電話とチャット）



前年同月との比較
【着信数】（電話とチャット）



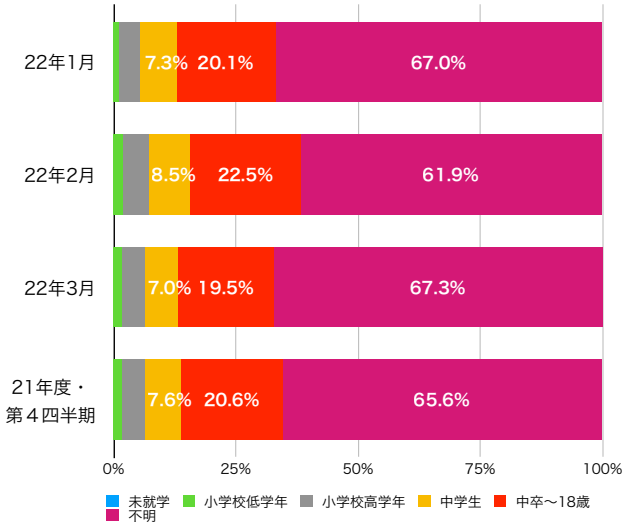
前年度・同期間／前四半期との比較
【発信・着信件数】（電話とチャット）



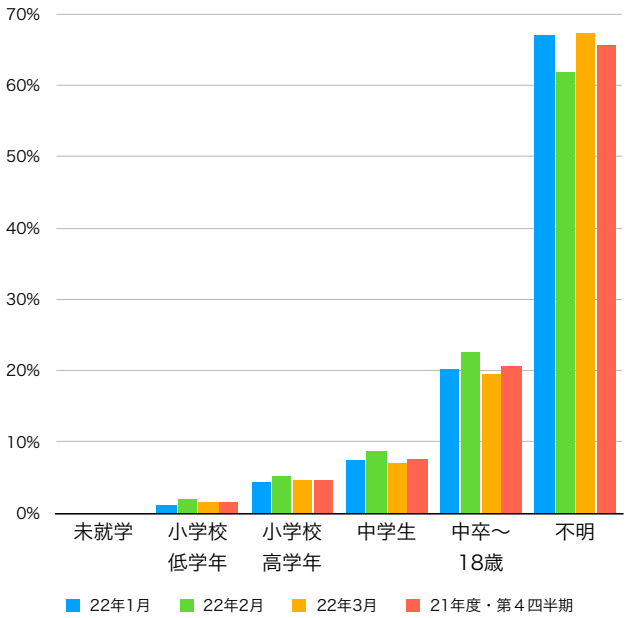
《データベース・年齢（全体）》

データベースにおける、会話成立・会話不成立・無言などを含めた「全体」について「年齢」を軸に、集計した。年齢割合は、全体として会話不成立や無言などが多い（約７割）ので「不明」が多い。
今期は、2月に年齢がわかった割合が増加している。前期比・前年同期比ではともに不明が増加。

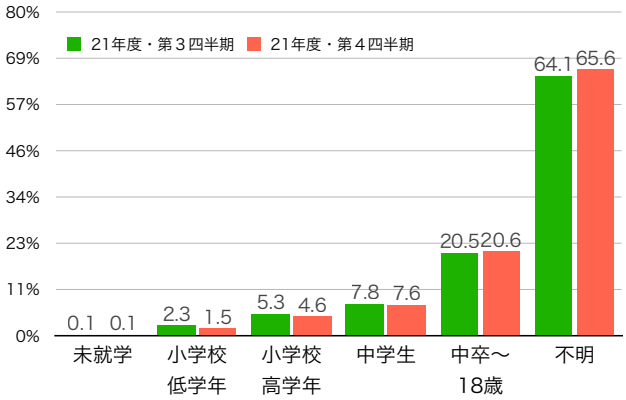
月別・年齢割合（全体）



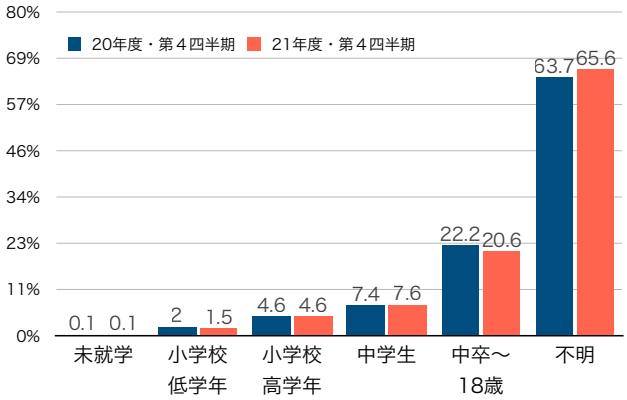
月別推移と合計（全体）



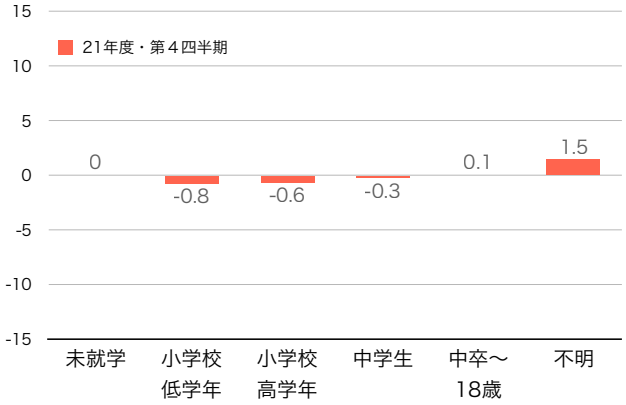
四半期別・前期との比較（全体・%）



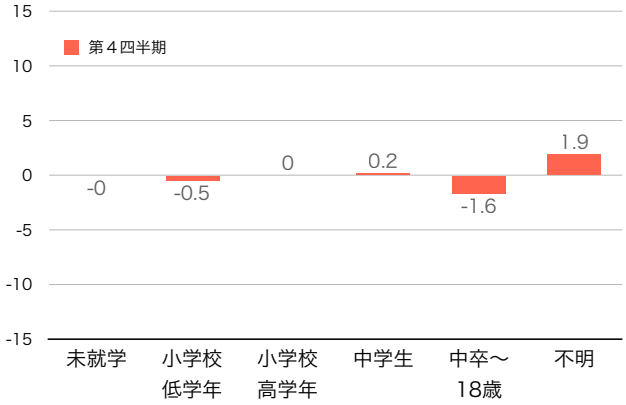
四半期別・2020年の同期との比較（全体・%）



前四半期からの増減（全体・%ポイント）

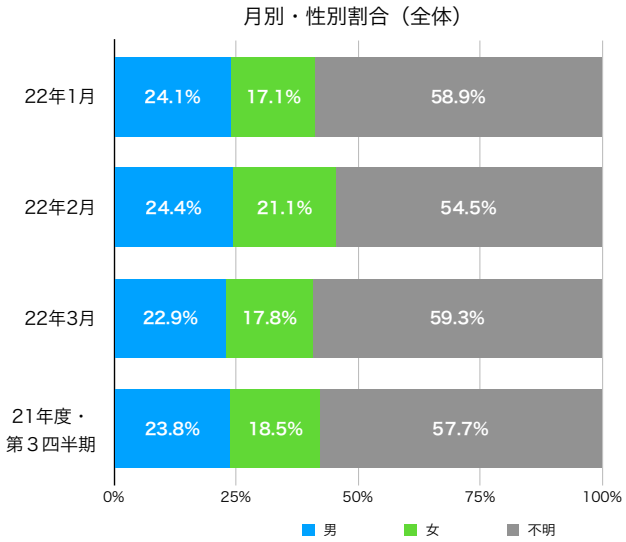


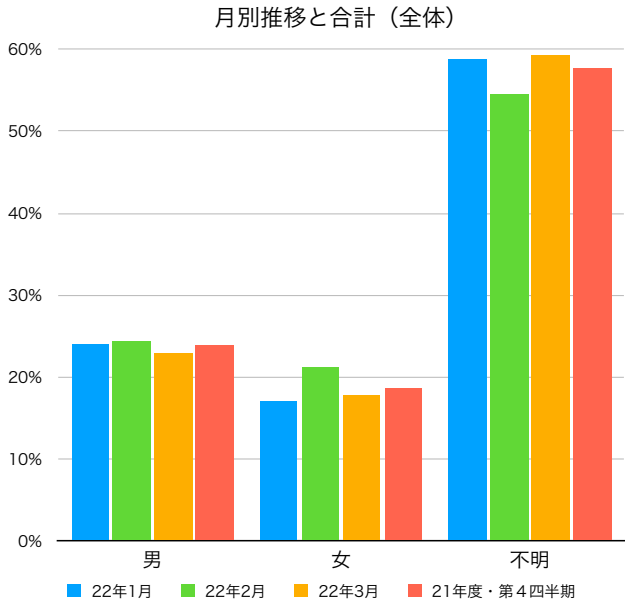
前年同時期（四半期）からの増減（全体・%ポイント）

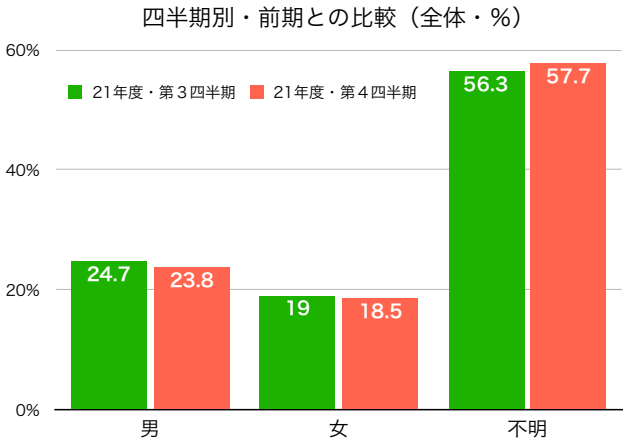


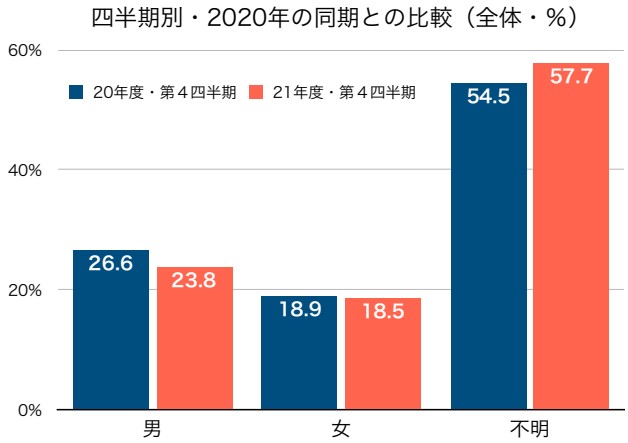
《データベース・性別（全体）》

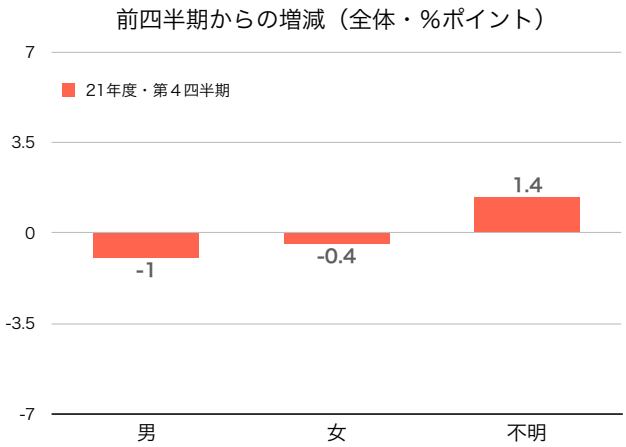
　データベースにおける、会話成立・会話不成立・無言などを含めた全体について、「性別」を軸に、集計した。前項と同じく、「不明」の割合が多い。
　前期比で性別不明が増加し、前年同期比では、男性が減少し、不明が増加している。

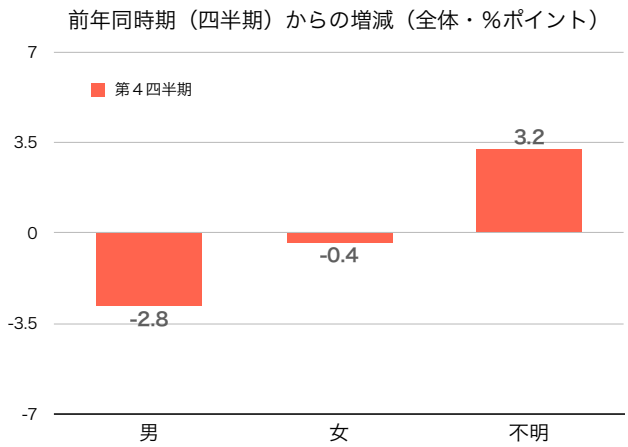






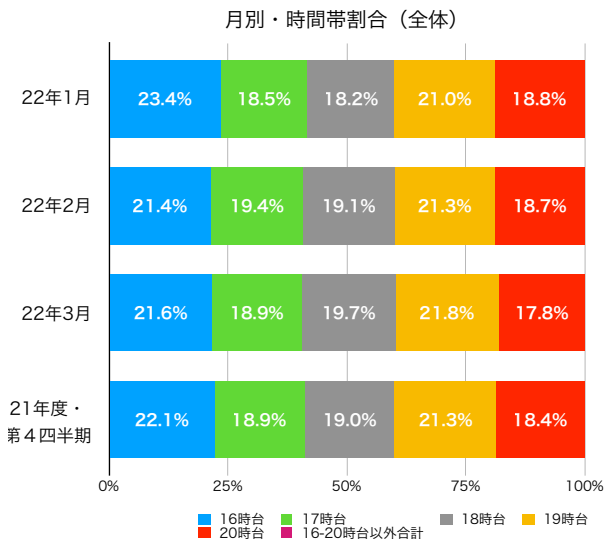


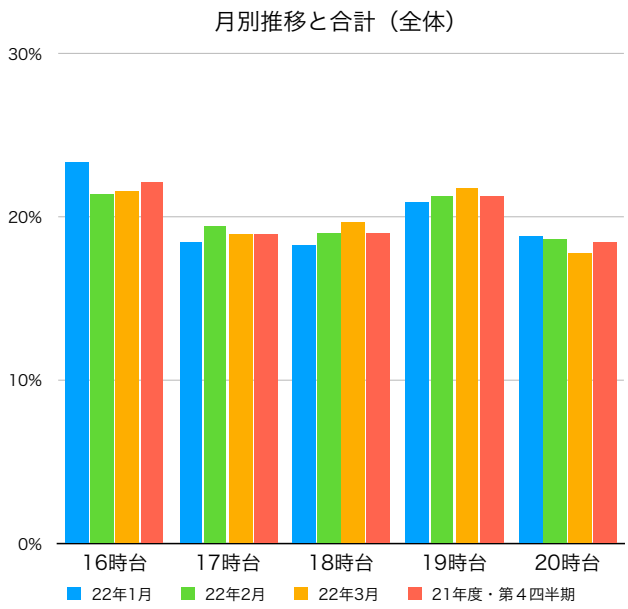


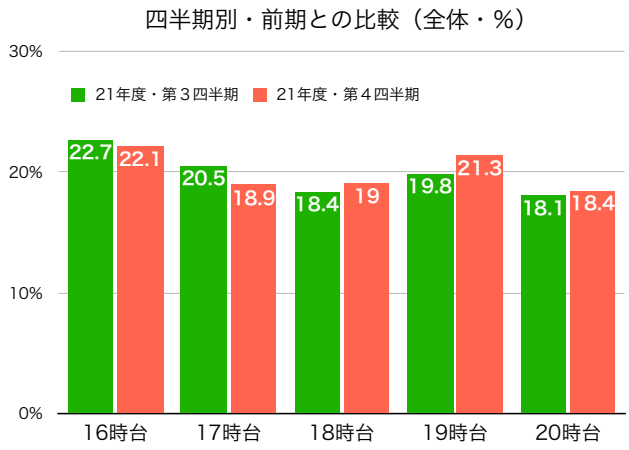


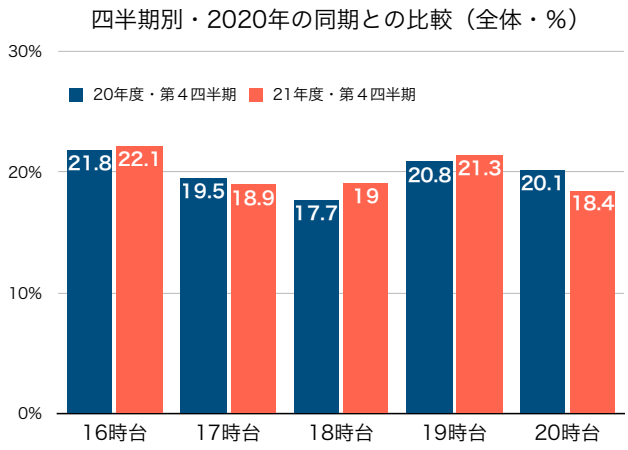
《データベース・時間帯（全体）》

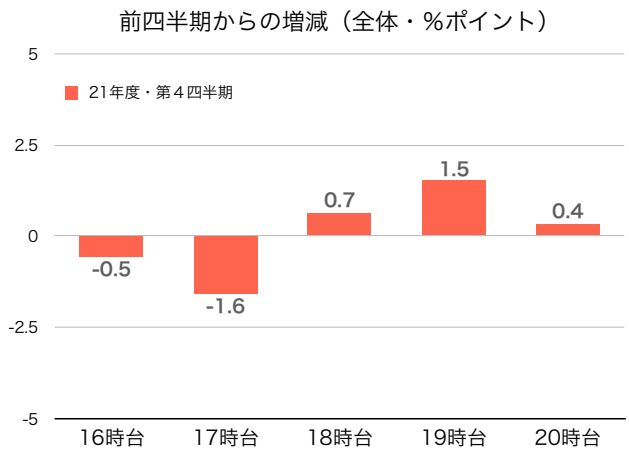
データベースにおける、会話成立・会話不成立・無言などを含めた全体について、「時間帯」を軸に、集計した。16時台と19時台にやや受信が多い傾向。一方、前期比では18・19時台が増加し、17時台は減少した。前年同期比においては、19時台が増加し、20時台が減少した。

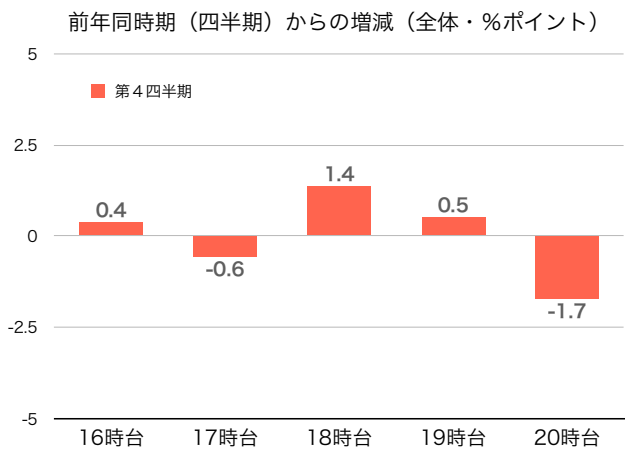










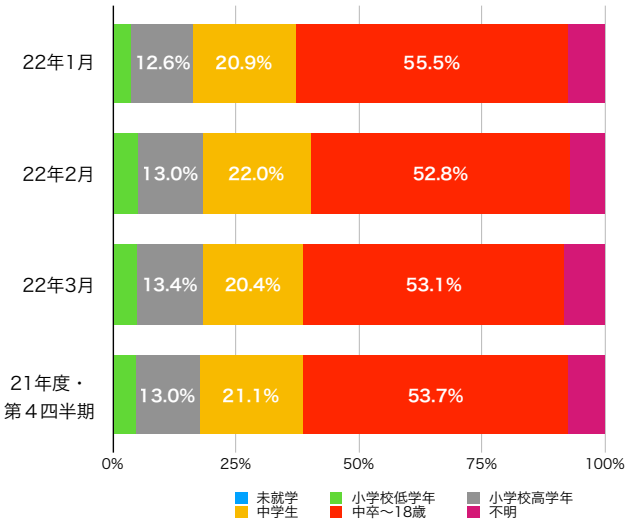


《データベース・年齢（会話成立）》

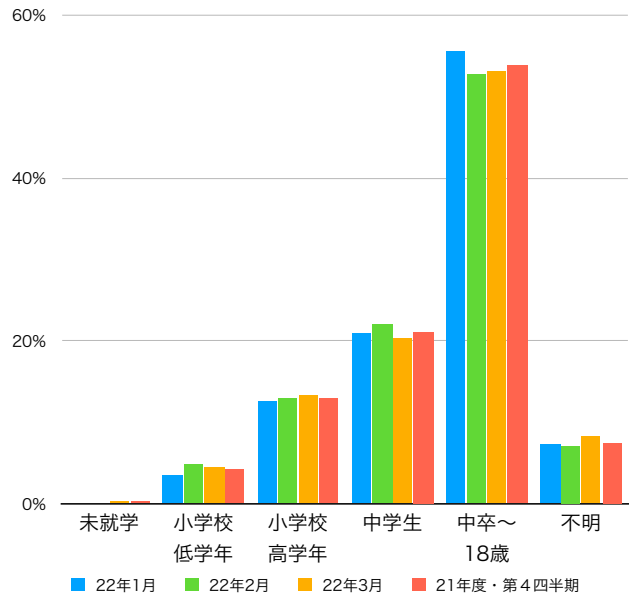
ここからはデータベースの「会話成立」に絞ったデータを紹介する。まず「年齢」別の集計から。

年齢の割合は、３ヶ月通じて高校年齢割合が多い（約5割）一方で、1月は小学校低学年が少ない。また、前期比は、高校年齢が上がり、小学校低学年・高学年が低下など変化が大きかった。前年同期比においても、小学校高学年、中学生がやや増加し、小学校低学年、高校年齢がやや減少した。

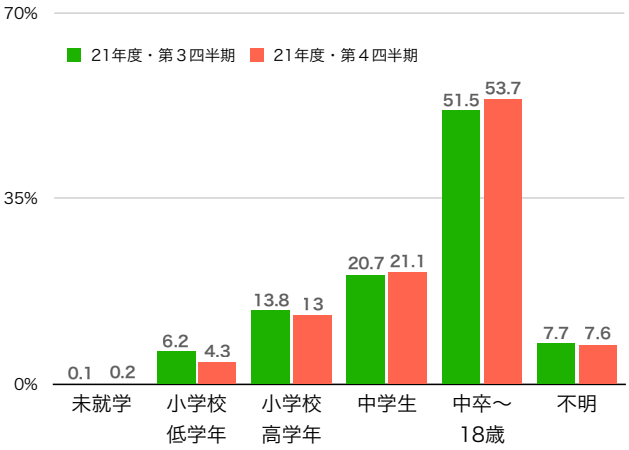
月別・年齢割合（会話成立）



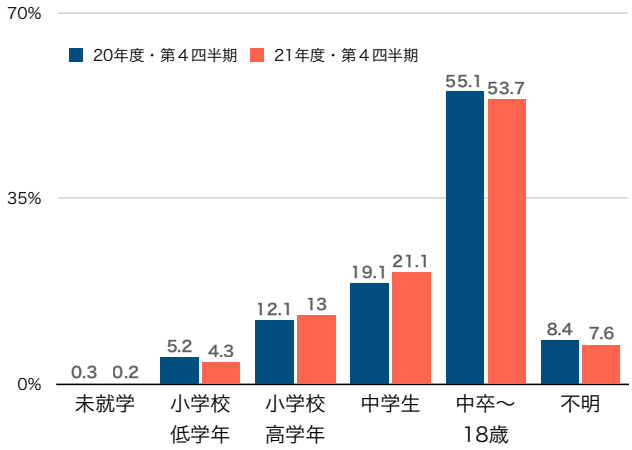
月別推移と合計（会話成立）



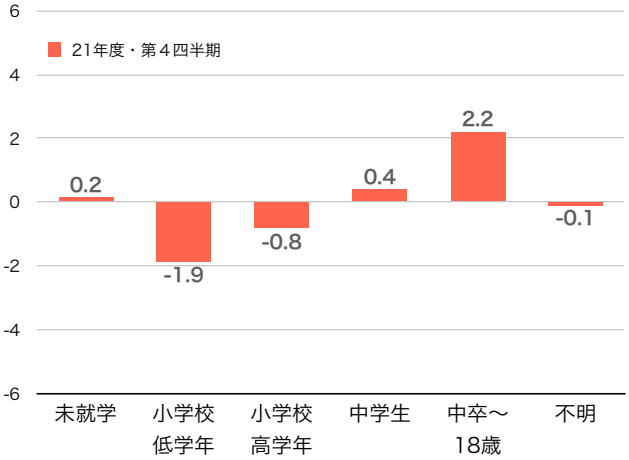
四半期別・前期との比較（会話成立・%）



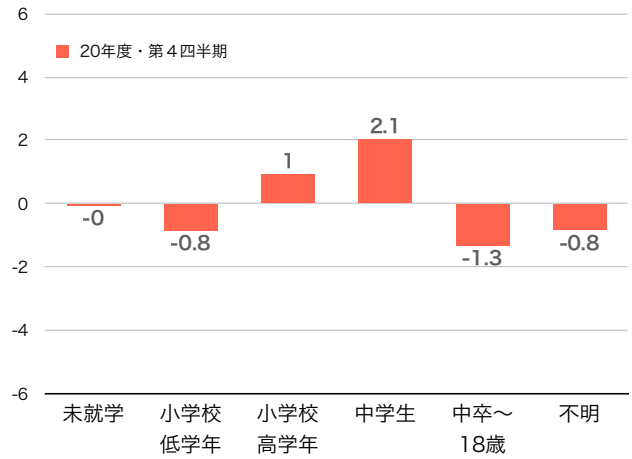
四半期別・2020年の同期との比較（会話成立・%）



前四半期からの増減（会話成立・%ポイント）



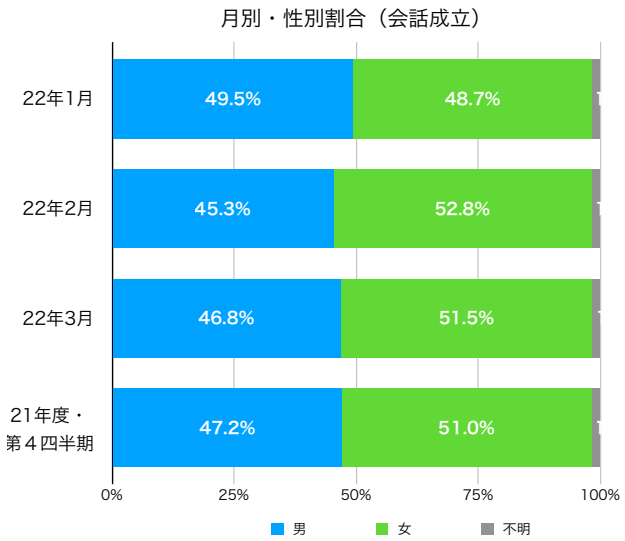
前年同時期（四半期）からの増減（会話成立・%ポイント）

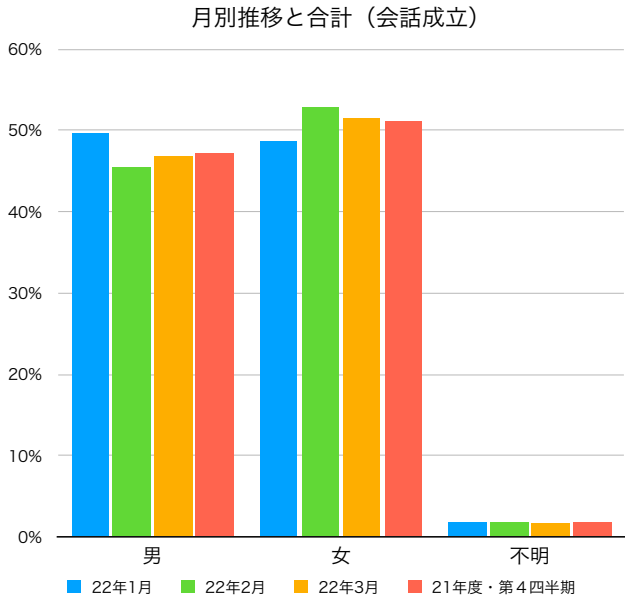


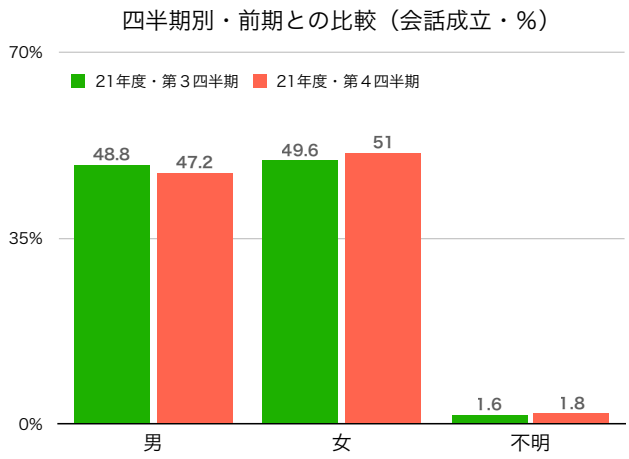
《データベース・性別（会話成立）》

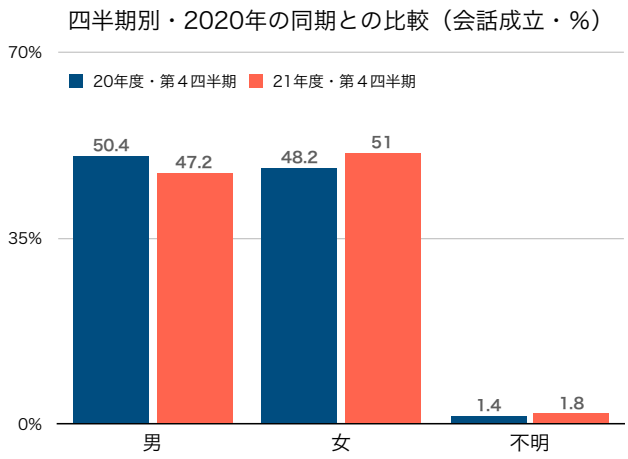
データベースの「会話成立」の中の「性別」を軸に集計した。男女ともに割合に大きな変化はないが、1月がやや女性割合の増加が見られる。

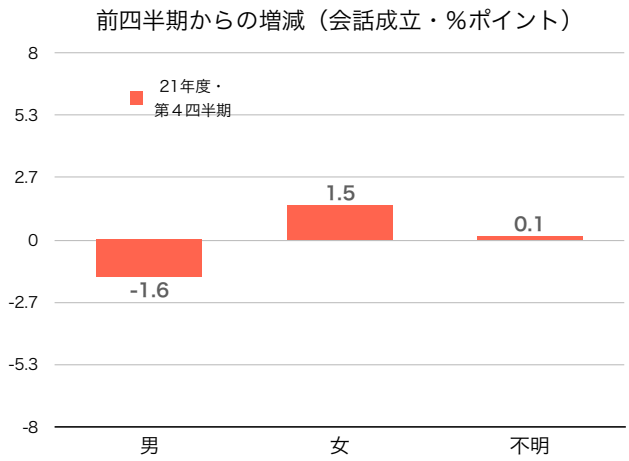
前期比においては、男性がやや減少し女性がやや増加、前年同期比においては、男性が減少し、女性が増加した。

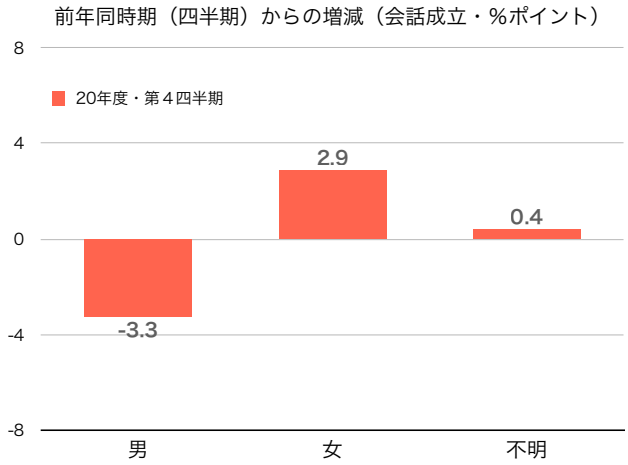






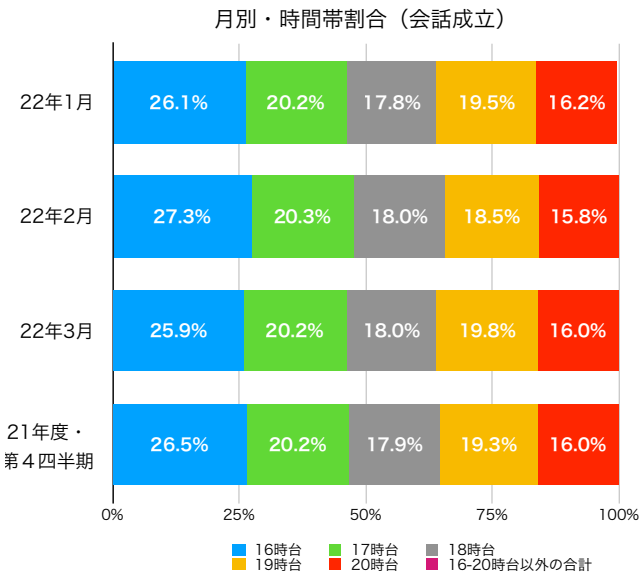




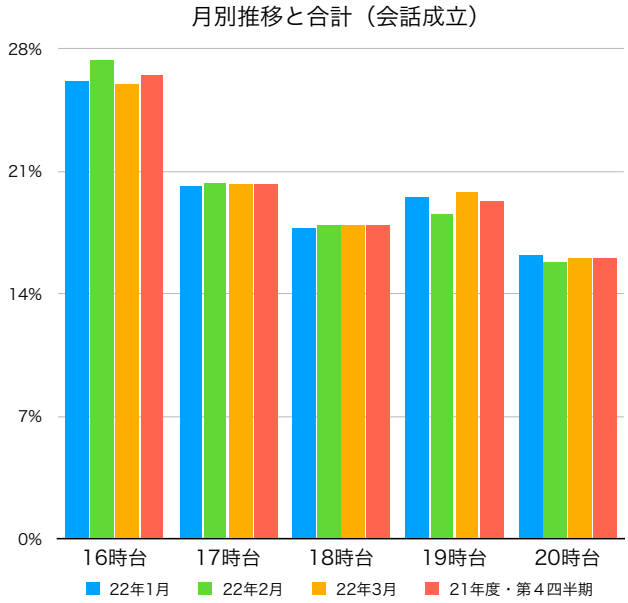


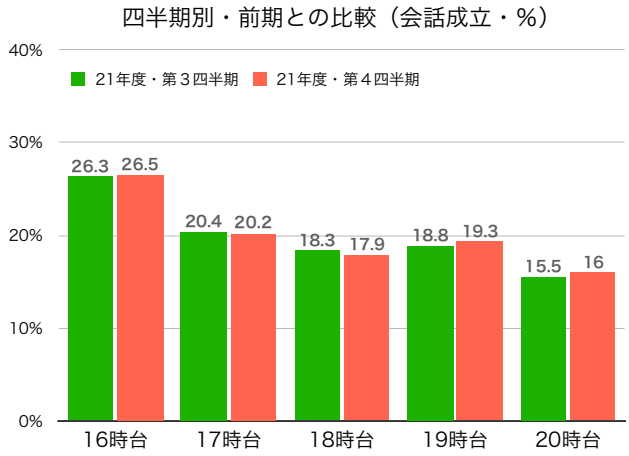
《データベース・時間帯（会話成立）》

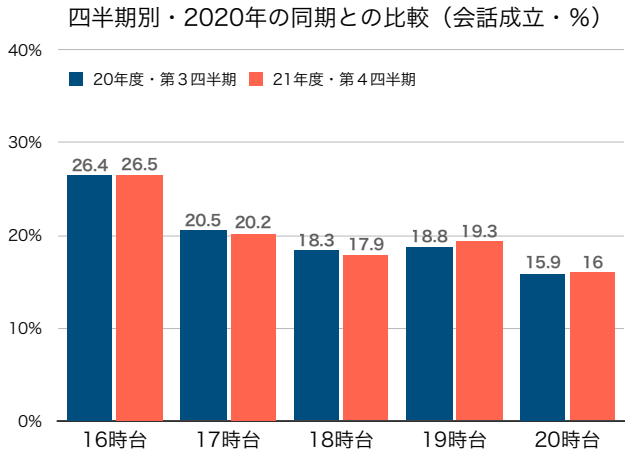
データベースの「会話成立」の中の「時間帯」を軸に集計した。各時間帯とも特に大きな変化は見られない。前期比では、各時間帯増減あるものの幅は少なかった。前年同期比では、16時台がやや増加し、17時台がやや減少した。

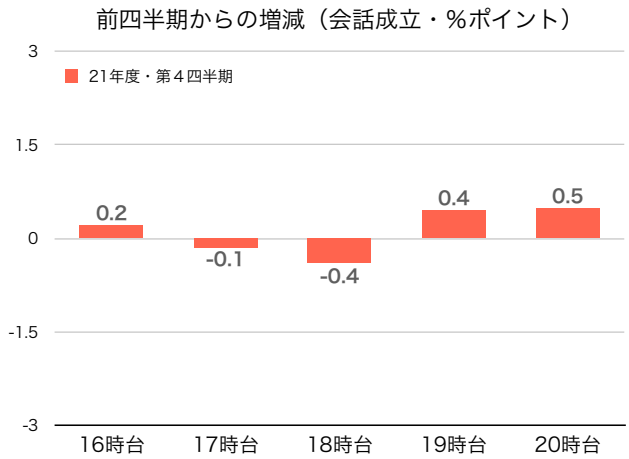


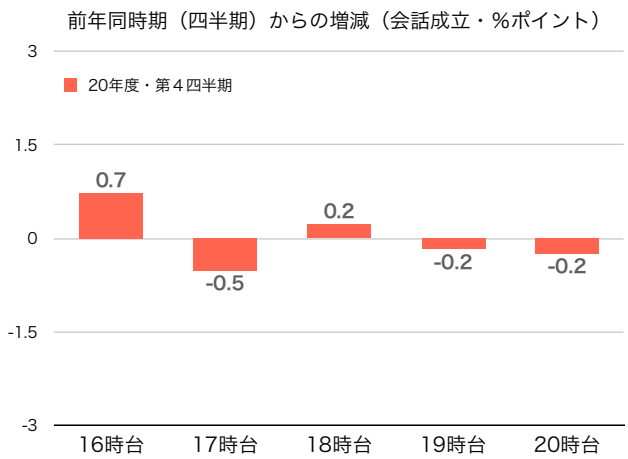
※16-20時台以外の合計＝11月にキャンペーンで他の時間帯も開設したため集計。







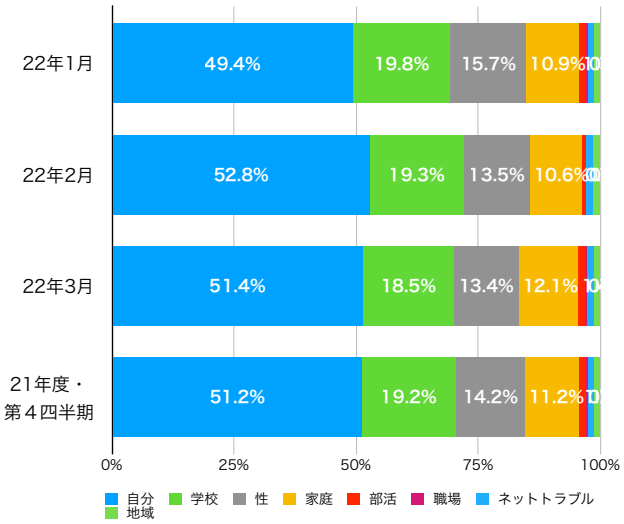




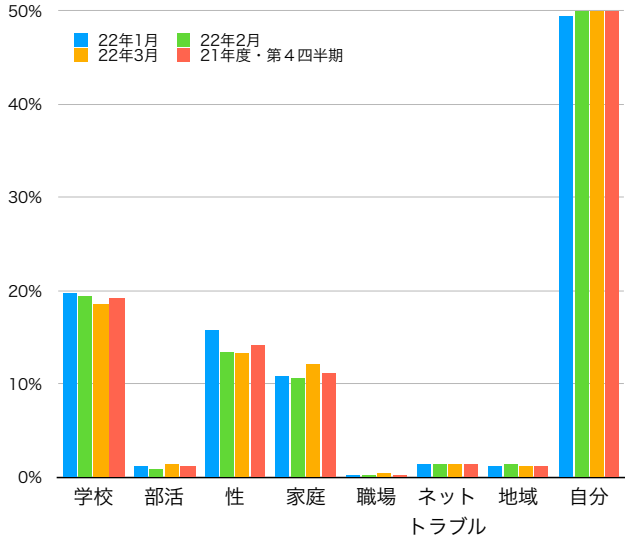
《データベース・主訴［大項目］（会話成立）》

データベースの「会話成立」の中の「主訴［大項目］」を軸に集計した。１月に「性」がやや増加、２月に「自分」がやや増加、3月は「家庭」がやや増加と月毎に変化が見られる。前期比では「学校」が大きく減少し、「自分」が大きく増加した。前年同期比においては、「学校」が増加した。

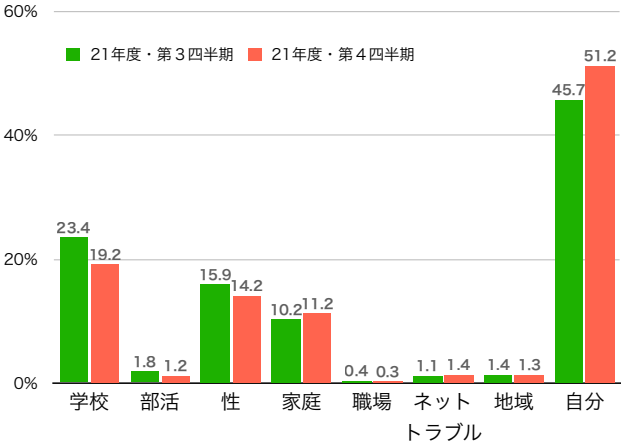
月別・主訴割合（会話成立）



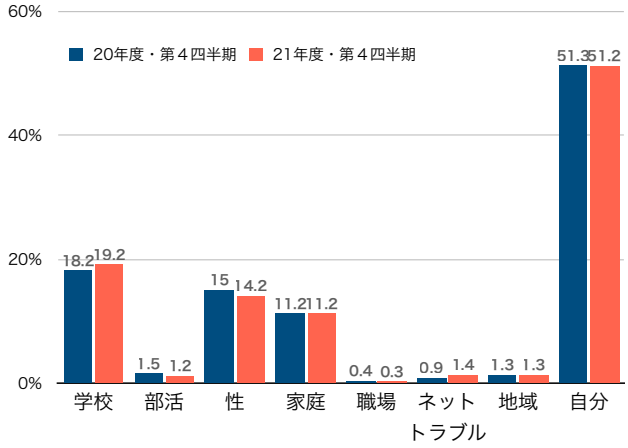
月別推移と合計（会話成立）



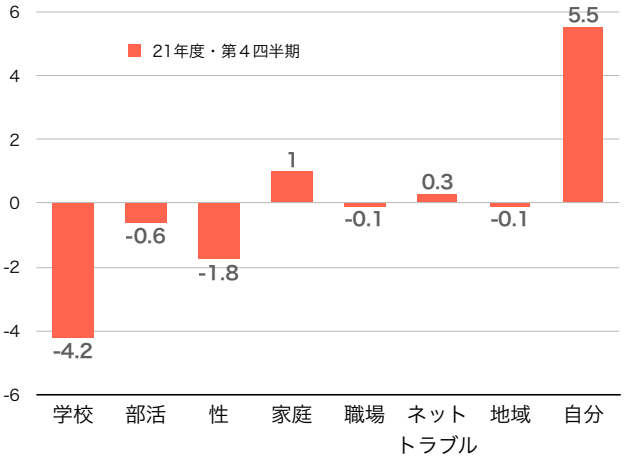
四半期別・前期との比較（会話成立・%）



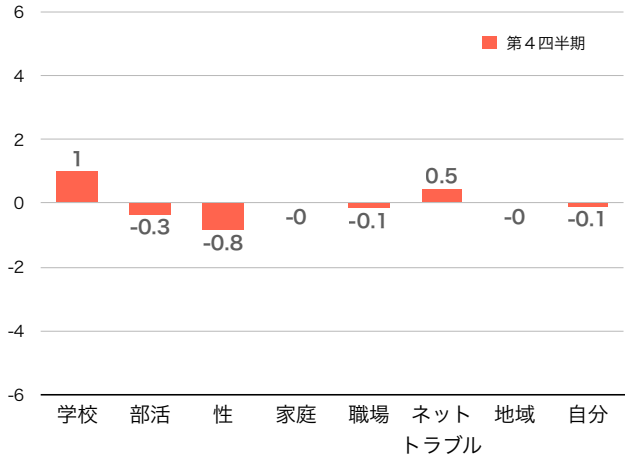
四半期別・2020年の同期との比較（会話成立・%）



前四半期からの増減（会話成立・%ポイント）



前年同時期（四半期）からの増減（会話成立・%ポイント）

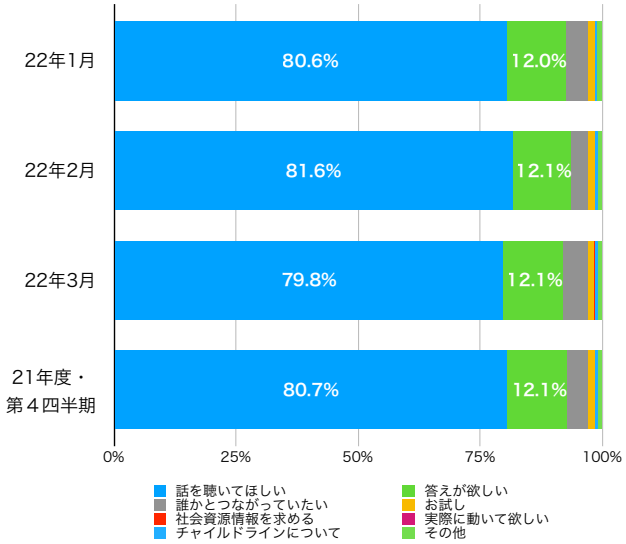


《データベース・動機（会話成立）》

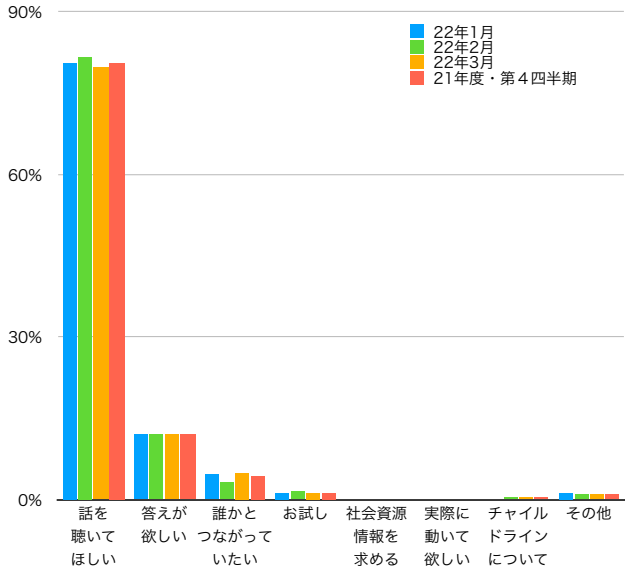
データベースの「会話成立」の中の「動機」を軸に集計した。月ごとにやや変化はあるが大きくはない。

前期比は「話を聞いてほしい」がやや増加し、「答えが欲しい」「お試し」がやや減少した。前年同期比では「話を聴いてほしい」がやや増加、そのほかが微減している。

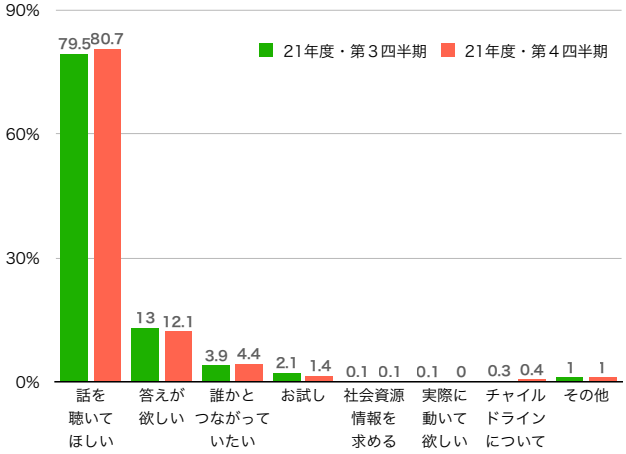
月別・動機割合（会話成立）



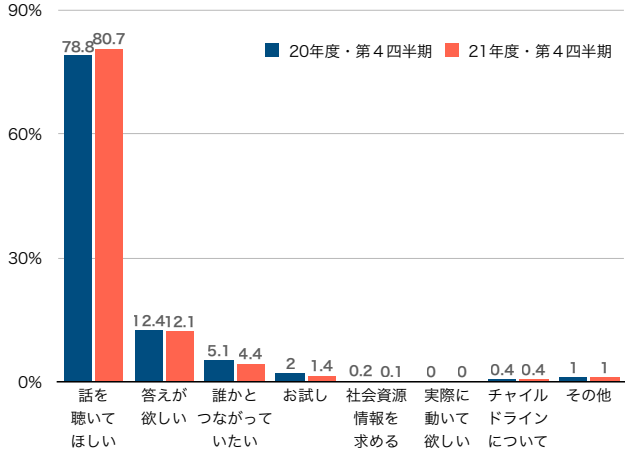
月別推移と合計（会話成立）



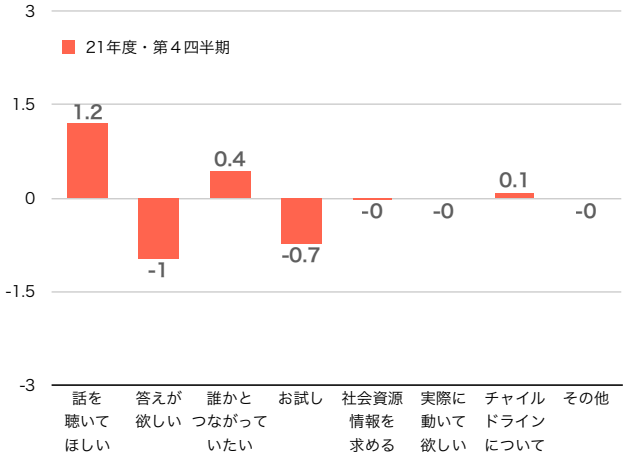
四半期別・前期との比較（会話成立・%）



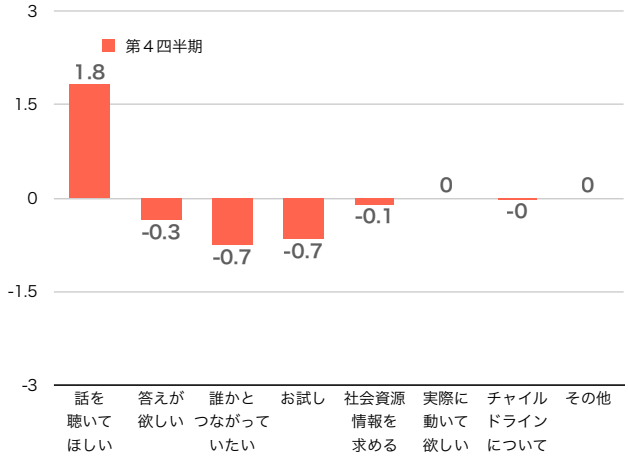
四半期別・2020年の同期との比較（会話成立・%）



前四半期からの増減（会話成立・%ポイント）



前年同時期（四半期）からの増減（会話成立・%ポイント）

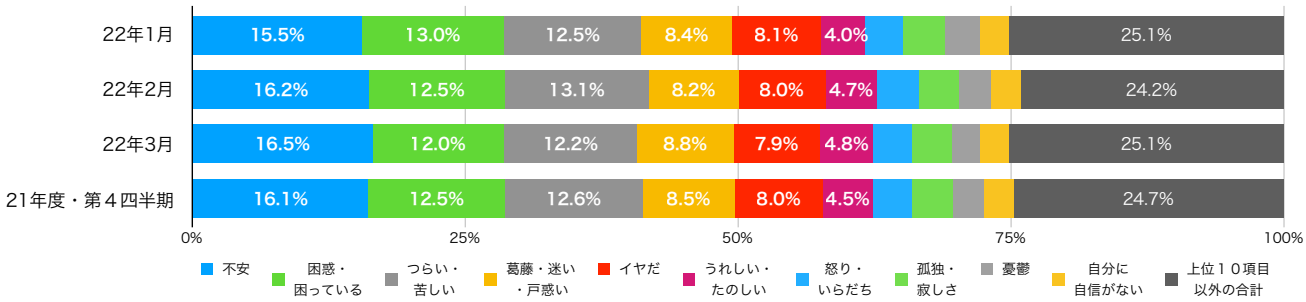


《データベース・気持ち（会話成立）》

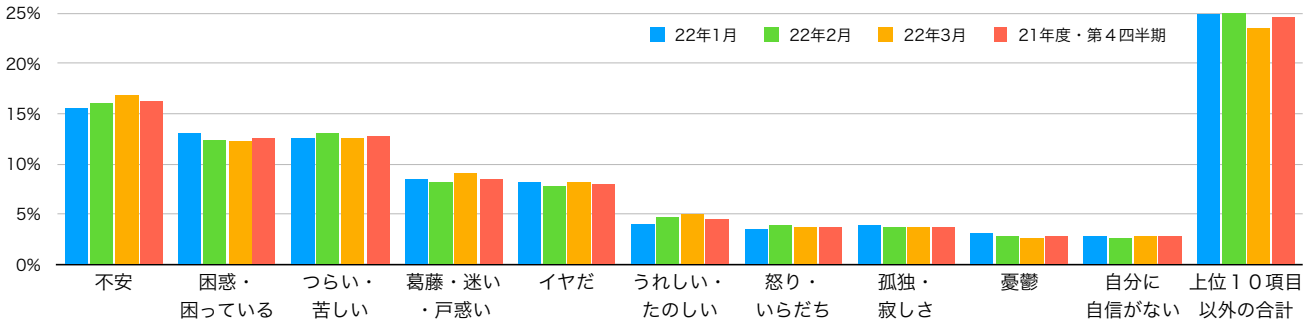
データベースの「会話成立」の中の「気持ち」を軸に集計した。ここでは項目が多いので、「割合の高い上位１０項目」を基本にまとめた。1月から3月にかけて、「不安」「葛藤・迷い・戸惑い」「嬉しい・楽しい」がやや増加していく傾向に対して、「困惑・困っている」「イヤだ」がやや減少していく傾向にあった。

前期比では、「不安」「つらい・苦しい」がやや増加したのに対し、「困惑・困っている」「イヤだ」がやや減少。前年同期比では、「つらい・苦しい」がやや増加し、「イヤだ」「孤独・寂しさ」がやや減少した。

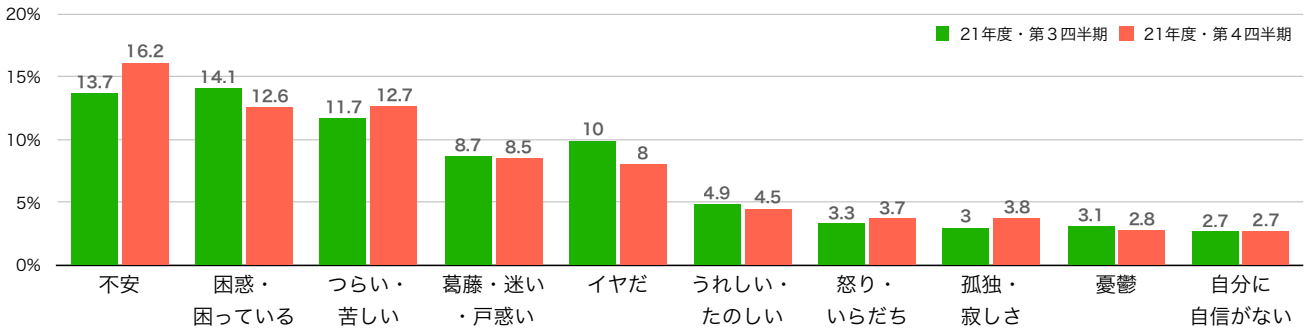
月別・気持ち割合（会話成立／割合上位１０項目）



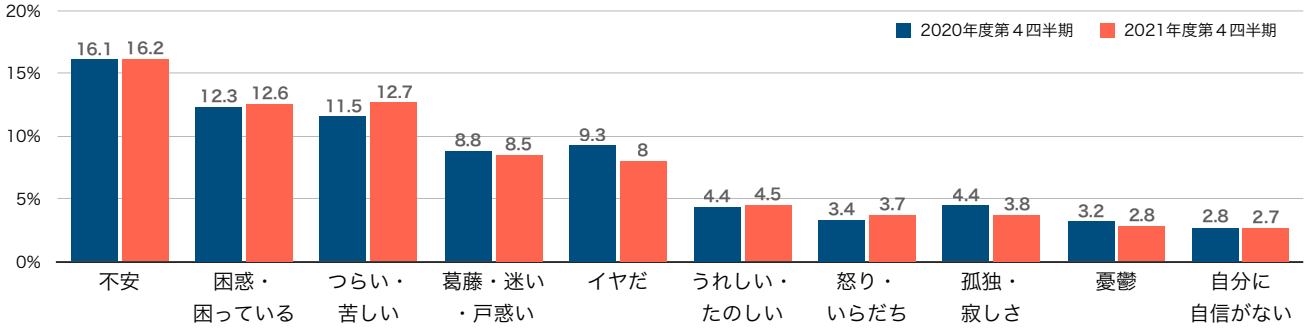
月別推移と合計（会話成立／割合上位１０項目）



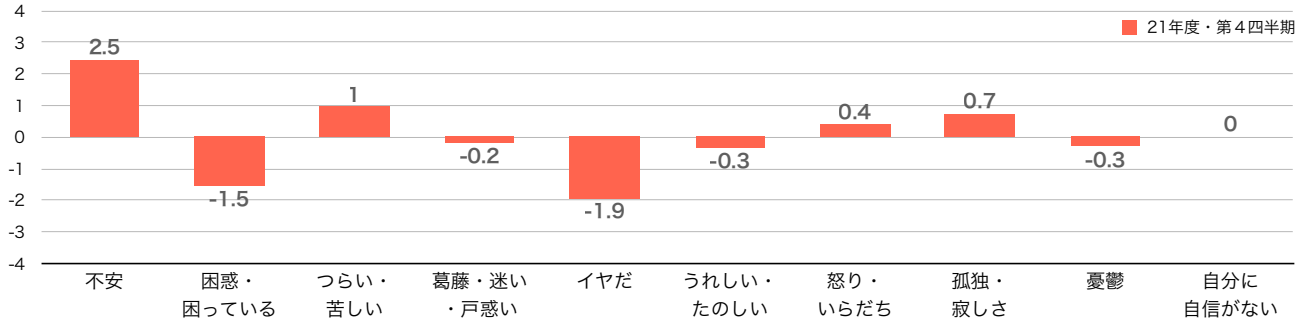
四半期別・前期との比較（会話成立・％／割合上位１０項目）



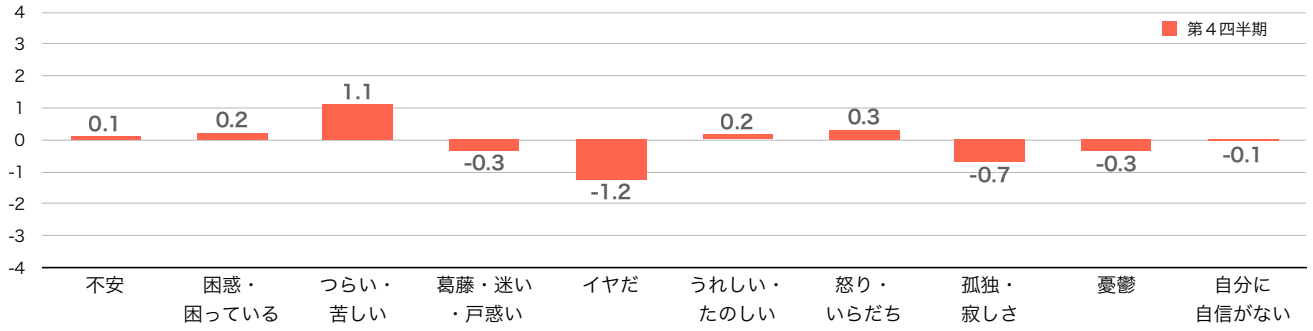
四半期別・2020年の同期との比較（会話成立・％／割合上位１０項目）



前四半期からの増減（会話成立・%ポイント／割合上位１０項目）



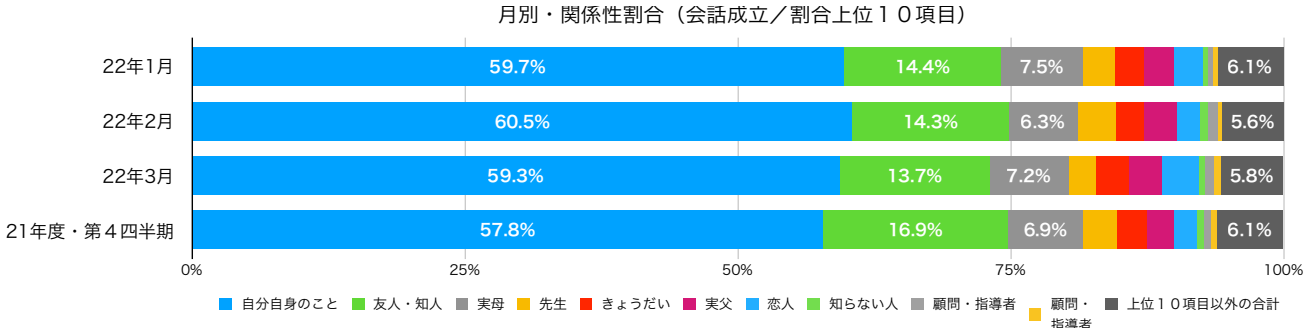
前年同時期（四半期）からの増減（会話成立・%ポイント／割合上位１０項目）

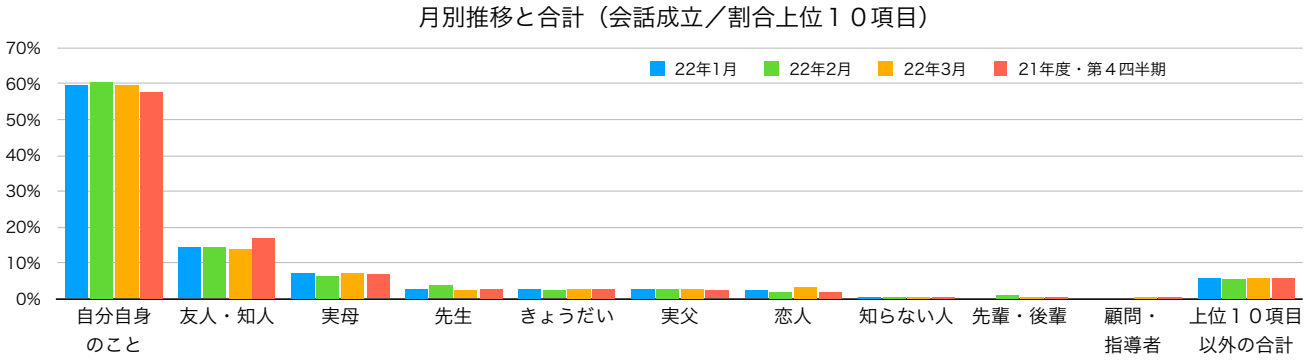


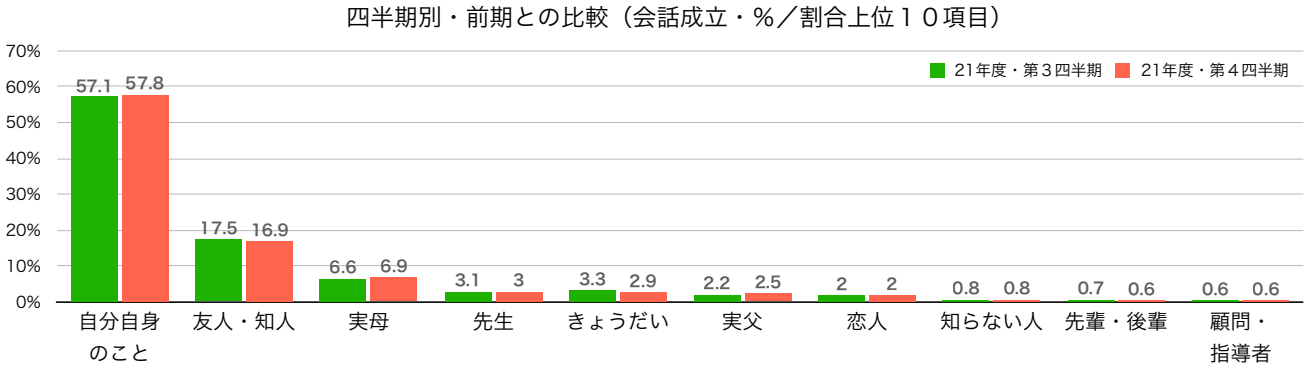
注：各データの小数点をまとめる際に集計上の誤差が生じるため、「月別・気持ち割合」グラフのデータと他のグラフデータに違いが生じています。利用する際は「月別・気持ち割合」を基準にしてください。

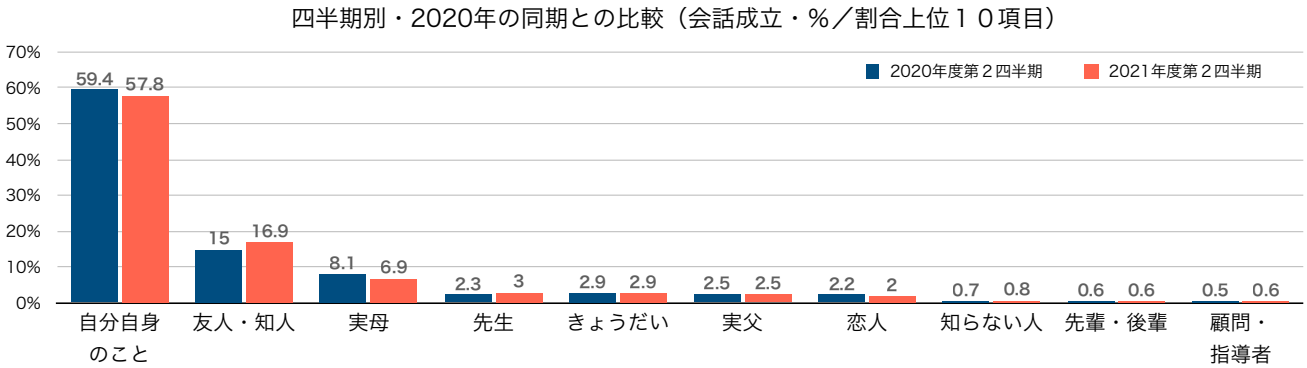
《データベース・関係性（会話成立）》

データベースの「会話成立」の中の「関係性」を軸に集計した。2月に「自分自身のこと」がやや増加し、「実母」がやや減少している。前期比では、「自分自身」「友人・知人」でやや増減あるものの大きな変化はなかった。前年同期比では、「友人・知人」が増加、「自分自身」「実母」が減少した。

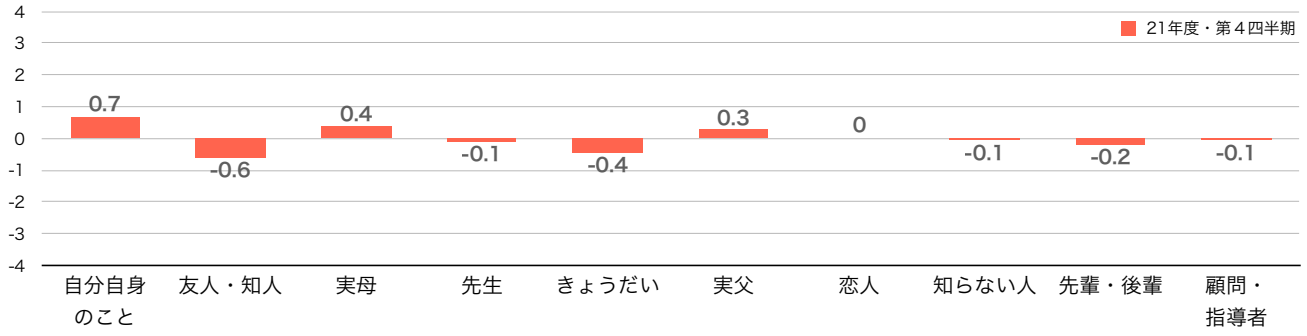




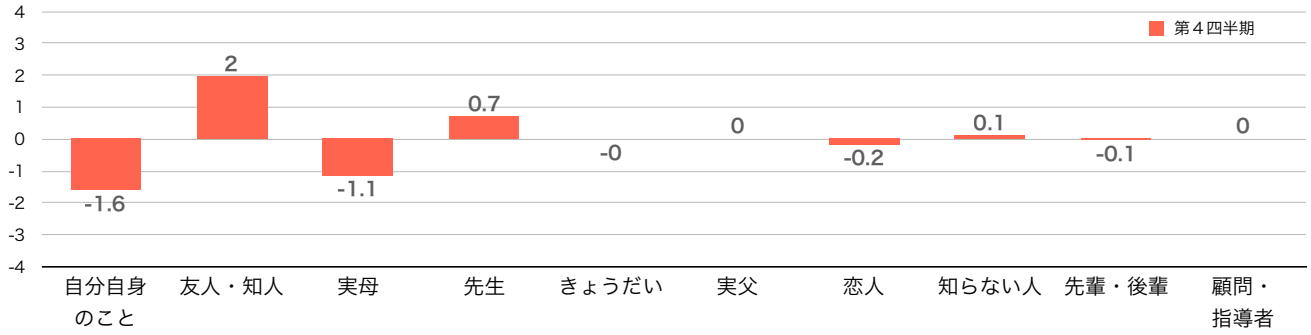




前四半期からの増減（会話成立・%ポイント／割合上位１０項目）



前年同時期（四半期）からの増減（会話成立・%ポイント／割合上位１０項目）



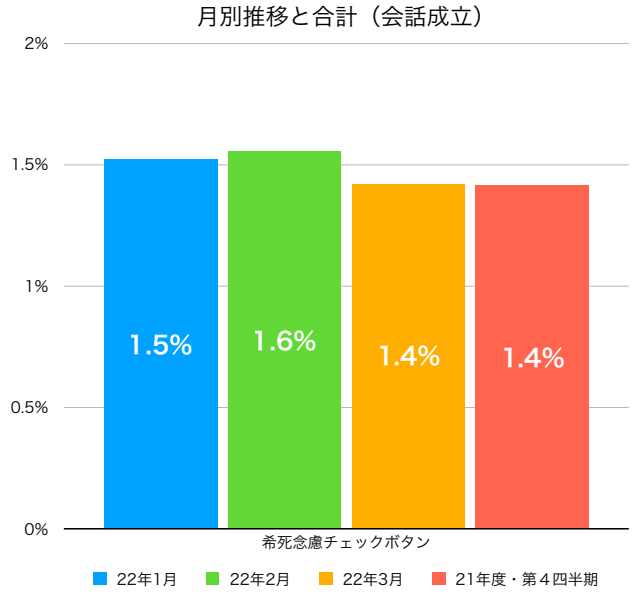
《データベース・背景に希死念慮がある（会話成立）》

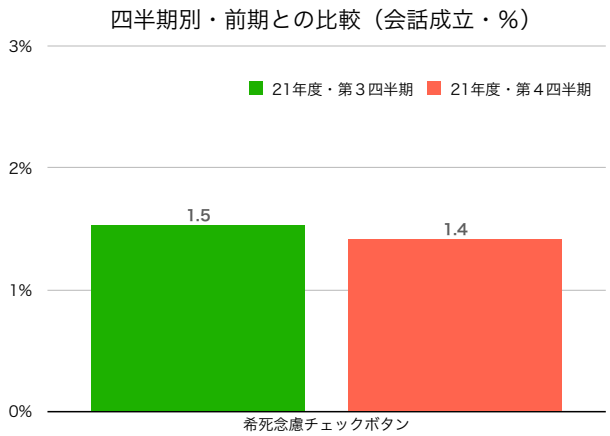
データベースの「会話成立」のうち、内容の背景に「希死念慮があるケース」に絞って集計した。集計数が少ないため、大きな変化はわからない。前期比では１９件減少した。前年同期比も減少した。

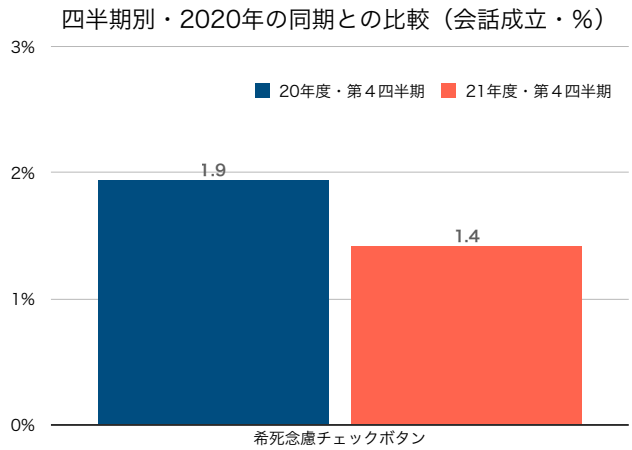
※見出しについて：今回、前回資料から見出しを変更いたしました。下記のグラフの内容は同じ形式の集計となっております。

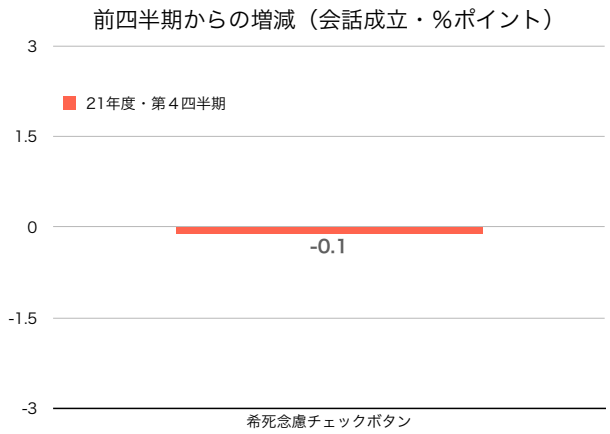
背景に希死念慮がある件数

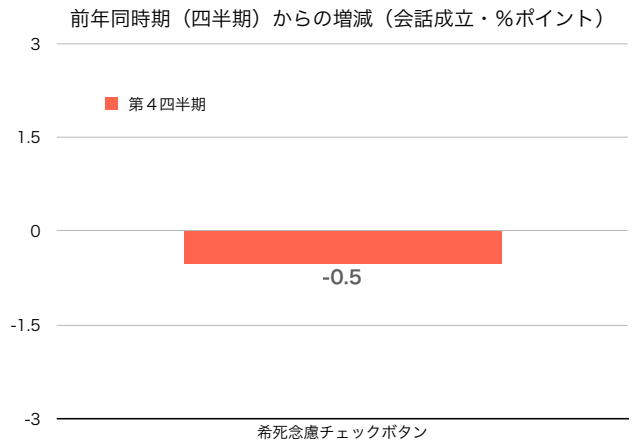
年月	件数
22年1月	57件
22年2月	60件
22年3月	58件
合計	175件









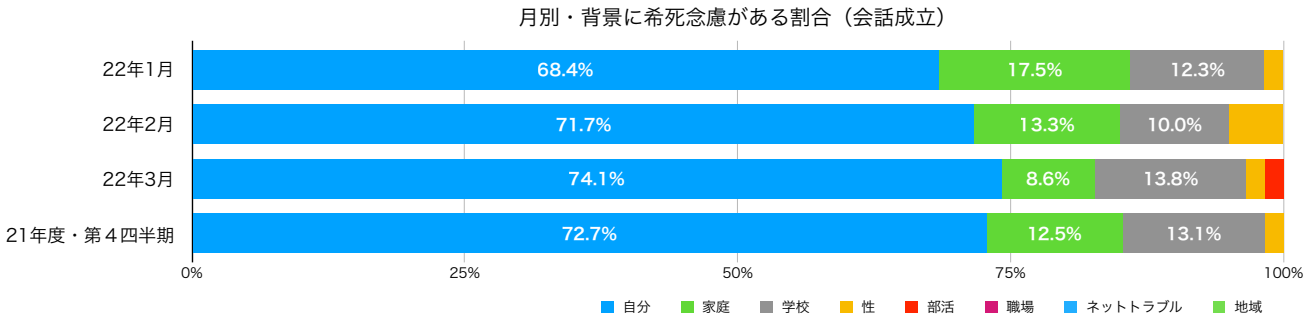


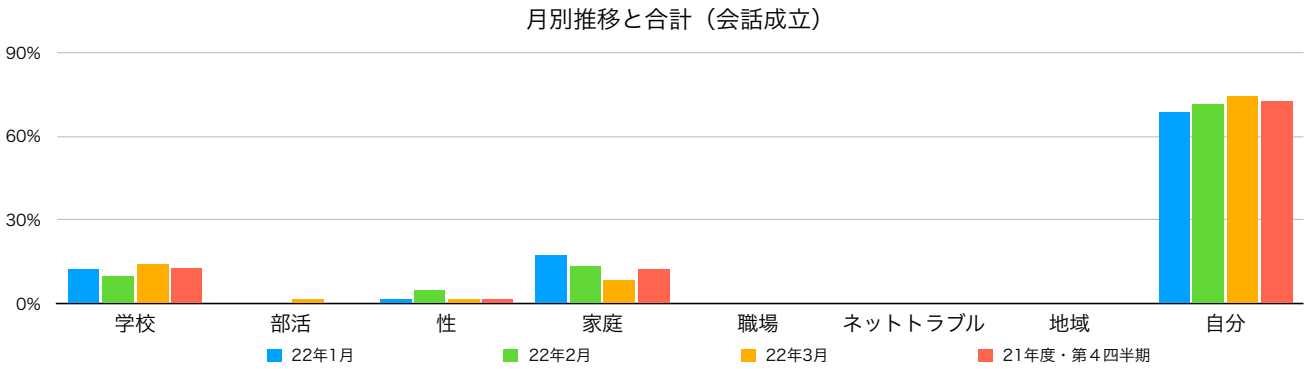
《データベース・背景に希死念慮の内訳（会話成立）》

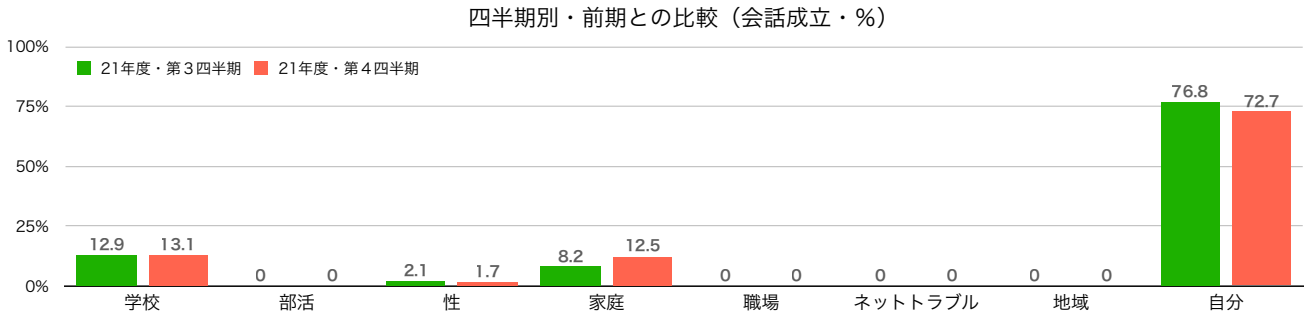
データベースの「会話成立」のうち、内容の背景に「希死念慮があるケース」に絞り「主訴」を集計した。各グラフとも、少し変化があるが、分母が100件／月を切るため誤差の可能性があり、正確な変化はわからないが、月ごとにやや割合が変化している可能性がある。

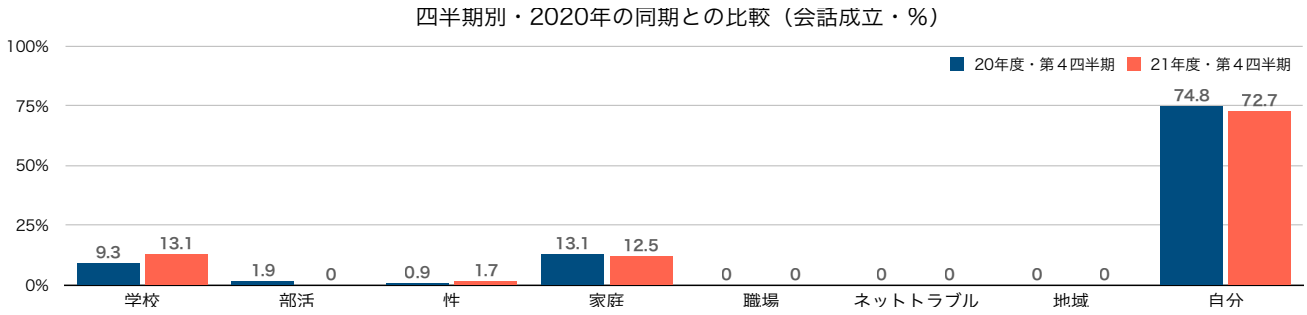
前期比では「自分」が減少し「家庭」が増加、前年同期比では「学校」がやや増加は、少し気になるところ。

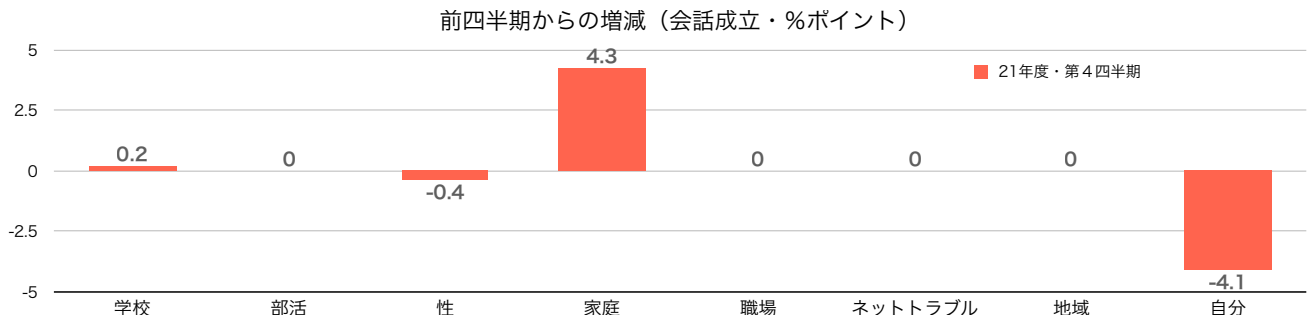
※見出しについて：今回、前回資料から見出しを変更いたしました。下記のグラフの内容は同じ形式の集計となっております。

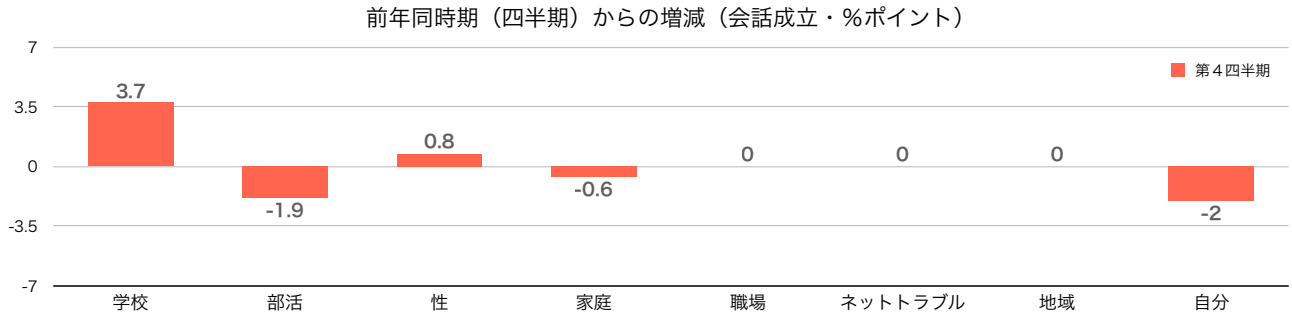












【この資料に関する問い合わせ】

作成：特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター

〒162−0808 東京都新宿区天神町14 神楽坂藤井ビル５F

メール：info@childline.or.jp　電話：03-5946-8500

ウェブサイト：https://childline.or.jp/